

## <スクールアルバム>

【高等部】スケーリングで多くの学友と学び、スポーツし、生徒大会では讃美も！



消防訓練（10/26）



煙体験もしたよ

<ジョイフェスでは、メインステージやゲームコーナーなど各所で活躍



【小6】鎌倉で社会科見学



生徒祝福式



## お願い・ご報告

- 創立20周年記念感謝会は、これまでの主の導きを覚え感謝し、今後の発展を期待する、大いに主を崇める時となりました。どうぞこれからものあI Sの確かな歩みのためにお祈り、ご協力をお願いします。
- 11月のスクールの活動、行事等は、祝福の中で行われました。お祈り、ご協力を感謝します。
- 冬休み前20日（金）までに、机やロッカーの荷物は持ち帰ります。大きな袋などを用意して、荷物持ち帰りにご協力ください。
- 12月21日（土）12時～、本郷台キリスト教会ジョイジョイチャペルクリスマス（子ども向けクリスマス）があります。小学生は、20周年感謝会で取り組んだ劇「ノアの箱舟」を発表します。11時からリハーサルを行うのでダイヤモンドチャペルに集合してください。
- 本郷台キリスト教会で行われるクリスマス関係のお知らせをしていきますので、どうぞご家族どなたでもご参加ください。
- 1月29日（水）～30日（木）または30日（木）～31日（金）の予定で、小5以上は、宿泊リトリートを行う予定です。この期間、小1～4は、特別活動を行い、14時30分下校となりますのでご確認ください。
- 年度末にあたり、2月26日（水）～、授業は、4限までとなります。昼食ありで、下校は14時（水曜日は、13時40分）です。年度当初にお渡ししてあります、「2024年度年間行事予定」にてご確認をお願いします。

## 今月のみことば（暗唱聖句）

「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちが愛し、私たちの罪のために宥めのさきげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」ヨハネの手紙第1 4:10

“In this is love, not that we loved God, but that He loved us and sent His Son to be the propitiation for our sins.” 1 John 4:10

英語でも覚えましょう。

## 祈禱課題

1. スクール関係者すべてのご家族がキリストの御降誕を喜び平和であるように。
2. スタッフ一人ひとりが学ぶ喜びを伝えていくことができるように知恵をいただき授業準備をしていけるように。
3. 高校生、HOPE生の卒業後の進路が開かれるように。
4. 学校法人化への取り組みに際して主に信頼し、祈り、献げられるように。



# のあインターナショナルスクール スクール通信 12月号

2024.Dec.1

VO1.208

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

## 「20周年プロジェクト、学校法人化をめざして」

小学部副担任 鈴木桜子

去年、横浜市が公募した旧庄戸中学校の跡地利用について学校教育や福祉活動を充実させていくための場所としてスクールも申請しましたが、5件公募があった中で1位にほんのわずかの差で2位という結果で落選しました。残念でしたが、この経験を経て「のあIS」は次の段階に進もうとしています。スクールはこの20年間、毎年財政面で厳しい運営を通らされていますが、ここまで祝福されてきたことは本当に奇跡だと思います。心配や恐れがある時も「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じまたわたしを信じなさい。」(ヨハネ14:1)と神は励ましてくださり、聖書の言葉は生きていて、どんな問題をも解決していく力と知恵を与えてくださいました。

若いスタッフも増やされて、徐々に世代交代していく大切な節目に、主は新しいことをなされようとしています。スクールが今まで以上に祝福され継続的に発展していくための知恵として、学校法人化に取り組むという方向を示してくださいました。8~9年くらい前からそのような話しはちらちら出ていましたが、その資格を取るための条件はあまりにもハードルが高いゆえに、いつも話題の隅に置かれてしまうものでした。しかし、まさにこの20周年を迎えた今、チャレンジするように神は私たちにぐんとその夢を近づけさせてくださいました。

フリースクールである「のあIS」の現状は、公的な援助がなく、また生徒が必要な当然受けるべき学習のサポートが圧倒的に少なく、のびのびと身体を動かせる体育館も自由に音を出せる音楽室や体を休める保健室もない状況、子ども達もそこで働く先生方の必要も満たせていません。また公機関を本来ならば低額で利用できる権利もなく、この状態が続くと、ご家庭に大きな負担がかかります。またスペシャルニーズのある子ども達がどこにも通学できずに困って相談にこられる家庭が後を絶ちません。教員の報酬も微々たるもので、若い世代の教員の生活を支えられないこの状態は将来的に存続できなくなるであろうという危惧があります。これらの叫びに神は御手を動かされ、創立20周年を迎えた今年、学校法人化に向けて戸が開かれ始めました。校長先生はじめ理事長、一般財団法人オアシスなど多くの方々、学校法人としての認定を受けるために取り組み続けてくださり、そしてたくさんの高いハードルを越えたところで、さらに見せられている大きな山の前にわたしたちは共に今出ている。先月の説明会で話されたように、自己所有の新校舎建設にとりかかります。文部科学省が全国に「学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)」の設置を促進させている方針を受けて、「のあIS」もあらゆる子ども達を受け入れていきたいという創立当初からのビジョンに沿って学校法人、さらに「学びの多様化学校」の認可を取得したい、というビジョンを掲げます。莫大な資金が必要で、頭で計算するならとても無謀、無理、疑問、心配、諦めが出てきます。でも生徒4名から始まったこの小さなスクールがこうして学校法人を取ろうとする学校にまで成長できたのも神の業であり、その神がさらに、わたしを信頼し、わたしに近づき、求めなさいと声をかけてくださっている。熱心に神に信頼するものに、報いると約束されて御業を起し始めてくださっています。生徒達とも祈り始め、小学生からも私にできることをして献げたいと願いが与えられています。人のピンチは神のチャンスとも言われます！出来ることから献げて神がどうされるか期待していきたいです。私たちが願うところ思うところのすべてをはるかに超えて行くことのできる方の栄光を拝させていただきたい。このスクールに与えられた使命の中に共に生き、スクールでの生活を通して子ども達の自尊感情が回復され、希望を持ち、祝福を流す存在となっていけるように、祈っていきたいです。スクールとご家庭の皆さんと次世代のために繋がっていき、共にこの20周年プロジェクトに加わってスクールを建て上げていきましょう。「神にとって不可能なことは何もありません。」(ルカ1:37)

# 12月のカレンダー

日	月	火	水
1日	2日 代休	3日 代休	4日 ヤダ交流会 (11時～)
8日	9日 Tさん誕生日	10日	11日 高等部・HOPE 社会科見学 保護者、スタッフ向けバイブルタイム
15日 M先生誕生日	16日	17日	18日 合同礼拝 保護者、スタッフ向けバイブルタイム
22日 O先生誕生日	23日	24日	25日
冬休み (～1月7日まで)			
29日	30日	31日	

- ・ 2日 (月)、3日 (火) は、20周年記念関連行事による休校 (代休) になります。
- ・ 4日 (水)、ヤダICSとの交流会を行います。ヤダの皆さんは、夕方の便で、韓国に帰国されます。
- ・ 11日 (水)、高等部・HOPEは、社会科見学に出かけます。8時40分に大船駅に集合し、東京文京区へ行き、江戸キリシタンが殉教した地を巡礼します。15時頃、本郷台駅で解散します。雨天決行です。詳細は追ってご連絡します。
- ・ 14日 (土) 14時～18時、本郷台駅前でもクリスマスマーケットが行われます。本郷台キリスト教会を始め、栄区内の6教会が合同で開催します。スクールは、小1～中2はステージ発表、中高HOPE生・スタッフは準備・ブースの手伝い・片付け等の奉仕をします。保護者の皆さまも、お手伝いのご協力、参加をお願いします。
- ・ 19日 (木) 1、2限、通常授業を行い、3～5限にスクールクリスマス会を行います。実行委員会が企画に取り組んでいます。詳細は後日お知らせいたします。ぜひ、保護者・スタッフの皆さまもご参加ください。
- ・ 20日 (金) で年内の授業・昼食は終了です。また、高等部の入学試験を13時から実施します。3限まで通常授業を行い、昼食・掃除・帰りの会を行って、12時40分下校です。
- ・ 21日 (土) 9時～10時30分、保護者・スタッフ清掃を行いますので、ご協力をお願いします。年末にあたり日常の清掃では行き届かないところを皆さんで清掃します。
- ・ 23日 (月)～1月7日 (火) は冬休みになります。健康に気を付け、有意義に過ごしてください。1月8日 (水) から通常授業・昼食を開始します。
- ・ 保護者、スタッフ向けバイブルタイムを行っています。子ども達が日々恵みをいただいている聖書の言葉をご一緒に味わっていきましょう。初めての方も大歓迎です。11日 (水)、18日 (水) の14:00～、5日 (木)、12日 (木)、19日 (木) の13:30～、場所は、のあISのHOPEの部屋です。鈴木まで問い合わせください。

木	金	土
5日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	6日 委員会活動	7日
12日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	13日 クラブ活動	14日 クリスマスマーケット (14時～18時 本郷台駅前)
19日 スクールクリスマス会(3～5限) 保護者、スタッフ向けバイブルタイム T先生誕生日	20日 授業・昼食終了(下校12時40分) 高等部入試(13時～)	21日 保護者・スタッフ清掃 Kさん誕生日、H先生誕生日
26日 Kさん誕生日	27日	28日



子育て **note**                      自制して愛によって叱る

### 御霊の実は、・・・自制です。ガラテヤ5章23節

日本の社会においては人を育てる時、叱る、怒鳴る、制裁(バツ)を加える、といった指導の仕方が、あらゆる場において蔓延しているようです。学校におけるクラブ活動や社会のスポーツサークル、会社においてそのようなのですが、それはまた、家庭においてもそのようなのではないのでしょうか。全ての人が、親との関係性の中で、その心が育っていきます。私たち親たちの心の有り様が、子供の心を育むのです。ある時、しょっちゅう怒鳴り声とともに叱ってくることの多い親の下で育ち、大人になった人の悩みに付き合ったことがあります。その人の悩みは、自分に寛容になれないことでした。あらゆる状況において自分に寛容になれずに、自分自身を責めることになるので、気持ちが落ち込んでしまいます。誠実に生きようとしているのですが、すべてがうまくいきませんでした。

最近、自制できない若者、非行や犯罪に走る若者たちが目に付きます。子供はどのようにして自制することを習得し、寛容になることができるのでしょうか。大切なことは、私たちが子育てをしていく時、しつけるために子を叱る時には、感情によって叱るのではなく、愛によって叱ることを心がけていくということです。そうするには、親の側に、自分の感情に左右されない、自制する心が必要です。子供でも大人でも、人が自分に対して、感情によって怒っているのか、愛によって怒っているのかは、判別できます。親は、感情によって叱りそうな時には、叱ってはいけません。私たちが感情によって叱るとき、実は、親はその叱ろうとしている内容とは別なメッセージを、その子の心に植え付けてしまうことが多いのです。先ほどの、自分に寛容になれなかった大人がそのケースです。そういう怒りに接する時、子供たちは、親が意図していた、怒っていた内容とは異なるメッセージを親から受け取るのです。「お前は(あなたは)、だからダメなんだ」とか「あなたの存在がお荷物だ」というような、自分の人格そのものに対する否定的なメッセージを受け取るのです。

子育ては、できるだけ、褒めることを基本に行っていきましょう。どうしても叱らなければならないときは、自制して愛を持って叱りましょう。

校長 月井博

